

平成29年度 第3回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

- 1 日時 平成29年11月28日(水) 午後2時00分～午後3時45分
- 2 会場 北名古屋市役所西庁舎3階 302会議室
- 3 出席者 14人
委員9人(3人欠席)、請負業者1人、総務部長、事務局：市民活動推進課長以下3人、
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題など
 - (1) あいさつ
 - (2) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン骨子に係る庁内意見聴取の結果について(資料1)
 - (3) 女性活躍推進部会結果について(資料2)
 - (4) DV対策部会結果について(資料3)
 - (5) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン(素案)について(資料4)
 - (6) その他
- 6 会議概要
 - (1) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン骨子に係る庁内意見聴取の結果について
 - 事務局から資料1に基づき説明。
 - (2) 女性活躍推進部会結果について
 - 部会長から資料2に基づき説明。

<委員>

「1人以上女性委員が登用されている審議会の割合」を100%にしようとしている。今、90.6%で、3つぐらいの審議会が入っていないと思うが、その審議会を教えてほしい。

<事務局>

産業廃棄物処理施設設置等対策委員会と西春駅西土地区画整理審議会、国民健康保険の運営協議会の3つの委員会は女性が1人もいないということで、ここを改善する。実現するのも難しいという話しも部会の中ではあったし、充て職的なので女性が入る余地がないというご意見もあったが、100%達成している市町もあるので、100%という目標を掲げていきたいとして決定した。

<委員>

それほど難しくないと思う。県境に近い過疎の地域であればわかるが、名古屋市に隣接するこれだけ発展した北名古屋市で人材がないということはない。探す努力をしていない。

<会長>

審議会や委員会の任命権はどこにあるのか。

<事務局>

この審議会は市長が任命することになっている。

<会長>

選ぶ元はどこか。

<事務局>

担当課が多いと思うが、充て職も多く、先程の産業廃棄物処理施設設置等対策委員会をみると、構成委員が市の職員である建設部の部課長となっている。そうすると、女性が登用されていないので、そこを変更しないと女性の割合が上がってこないと思う。また、西春駅西土地区画整備審議会は基本的には地元の関係者の中からの立候補制となっているので、なかなか難しいのではと思う。ただ、声掛けなど努力できるところもあるので、気にしていただけるように進めていけたら良いと思っている。

<会長>

地権者が男性名義になっているなどの関係も関わってくると思う。

<事務局>

はい。そうすると男性の立候補が多くなると思う。

<事務局>

国民健康保険の運営協議会は女性を登用できるのではないかと。

<事務局>

国民健康保険の運営協議会は登用しやすいが、一般枠は自治会長が多く、自治会長でありかつ国保に入っている女性というとなかなかいない。条件に合う方がいらっしゃったときや充て職の扱いも変えていけるといいと思う。

(3) DV対策部会結果について

○ 部会長が欠席のため、事務局から資料3に基づき説明。

(4) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン（素案）について

○ 請負業者から資料4に基づき説明。

○ 事務局から追加資料に基づき説明。

<会長>

基本目標1、基本施策(1)・(2)・(3)について、何かご意見があればお願いしたい。

<委員>

「男は仕事、女は家庭という固定的な性別役割分担に反対とする割合」は、選択肢には「反対」と「どちらかといえば反対」があるが、これは「反対」だけの数字か、「どちらかといえば反対」も入っているのか。

<請負業者>

「どちらかといえば反対」も入っている。「反対」と「どちらかといえば反対」の合計の割合で現状が36.6%で、目標を50%と掲げている。

<事務局>

「どちらかといえばそう思わない」それから「そうは思わない」という、尺度でいうと真ん中より左側の2つをピックアップしている。

<委員>

この書き方だと単純に「反対」だけの数字と受け取られかねないため、「ど

ちらかといえ反対」も含むなどを入れた方がよい。一般的には両者を足した数字で出すが、ここでは「反対」だけになっている。「反対」だけだとすると数値目標の50%は低いと思うが、現状が36.6%だから50%だろうとは思う。読む人が間違えないようにしてほしい。

<事務局>

「男は仕事、女は家庭という固定的な性別役割分担を「どちらかといえ反対」だけだと思わない」「そうは思わない」とする割合」と書けば、誤解はない。

<委員>

数値目標を見て判断する人もいるので、丁寧に書いてほしい。

<事務局>

基本目標1の基本施策(1)に「困難な状況に置かれている人への支援」が抜けていたため追加する提案について、これでよいか。

<会長>

異議なしということで、追加してください。

基本施策(3)「多様な性の理解促進」で、LGBTを理解していただくという目標が上がっているが、そうになると基本施策(1)の「男女混合名簿」の導入が気になる。なかなか進まないなと思っている。性的マイノリティの方は全国で7.6%いる。全部で何校あるか。

<事務局>

小学校は10校、中学校は6校。

<会長>

小学校で混合名簿をやっている、中学校へ行くと別々の名簿になる。高校へ行くとまた混合名簿になる。

<委員>

この実績数値は、小・中学校か。

<事務局>

混合名簿実施の6校は、中学校1校と小学校5校となっている。

<委員>

他は全部%表記になっているが、10校というは何%に当たるのか。10校が全部だと勘違いする人もいる。

<事務局>

男女混合名簿実施校数と合わせて括弧で%表記もする。

<会長>

基本目標2、基本施策(1)・(2)で、何かご意見があればお願いしたい。

基本施策(2)の取り組み内容No.3について「キャリアアップなど女性活躍に資するセミナー・研修等を実施します」と変更、内容No.4「市役所が率先垂範して、女性管理職…」と文言の変更要望があるがいかがか。

<委員>

それでよい。

<委員>

基本施策(2)の現状・課題の上から3つ目の箇条書きで、「管理職を務める自身がない」は、漢字のケアレスミスではないか。

他の選択肢がわからないから何とも言えないが、「管理職を務める自信がない」が最も多いから意欲を高めなければいけないとなるが、働く環境が整っていないため、管理職になりたくないという選択肢はないのか。

<事務局>

調査の設問「管理職に就くことを望まない理由は何ですか」に対する選択肢は、「家庭・育児との両立が難しそう」「管理職を務める自信がない」「昇任することに魅力を感じない」「責任を負わされるのが嫌」「他にライフワークがあるため責任ある立場は望まない」「残業や休日出勤が増える」「その他」となっている。

<委員>

その中で最も高いのが、女性自身に「管理職を務める自信がない」ということか。

<事務局>

はい。

<委員>

家庭や育児と仕事との両立が難しいという選択肢が他にあるから、自分の能力がないことで自信がないと答えているのだろうと思う。これを見たときに、「管理職を務める自信がない」には自分の能力とは別の要素が絡んで自信がないのかわからないという気がした。

<委員>

私もそう思う。先程の話で、建設部には必ず男性がなければならない部署なのか。そうなると、女性としては建設部に入る自信はないとなる。教育現場でも男性が校長としてやっていくというイメージがどこか周りにあって、周りからの期待に対して自分にはできないのではないかと思ってしまう。先程の話しに戻るが、建設部であっても女性でやれるという周りの理解、状況さえあれば、自分でもやれるのではないかという気持ちになってやれると思う。独特な男性社会の雰囲気もわかるが、そういったところの殻を破っていかないと、できないのではないかと教育現場でも思う。女性が校長になっても今の能力で十分やれる状況を、周りの人が意識してつくっていかないといけないと強く思う。

<委員>

今、本当に良いことをおっしゃっていただいた。こういう書き方をされると女性には能力がないと自ら引っ込んでしまうと強調されてしまう。意欲を高める必要はあるが、意欲を高める必要とともに周りの職場の環境整備や理解が必要だということを加えてほしい。

<委員>

今の状況でも十分やれるのに、実際の状況を見るとやる自信がなくなるだけの話しであって、能力的に劣るなどとは決して思えず、むしろ優秀で素晴らしい人なのに、周りからの目や期待に対して自分が潰されていくような印象があって、もったいないという感じがとてもする。

<事務局>

その部分を「現状・課題」について、「意欲を高めるとともに、周囲の職場の環境整備や理解を促す」と修正する。

<委員>

基本施策(2)の取り組み内容No.1「就労に関する情報提供・相談の充実」で、

これはあくまでも職に就く、探すということで商工農政課が担当になっていると思うが、女性のエンパワメントを考えた場合、「働く」イコール「働く環境の情報」が絶対必要である。保育園に預けられるのかとか、介護する人がいればどういうシステムがあるのかとかなども合わせてここに担当として挙げてほしい。ワンストップサービスというような、一か所に行くと全部わかるというように段々北名古屋市もなっていくとよいと思っている。バックアップの情報提供としての担当課も挙げてほしい。

<事務局>

子育て支援や介護支援などの情報も、ハローワークの中で行うということか。

<委員>

「ここに行ってください」でも良い。仕事は何とか見つけた、では次に子どもをどうするかなど、自分で最初から情報を全部探すようなことをさせず、できれば一度にいろいろなことが並行して進んでいけるようなバックアップ体制ができると良い。

<事務局>

取り組み内容に記載するのが良いか。

<委員>

大きな取り組みは、就労に関する情報提供・相談の充実なので、内容に「●●と連携を図り」などの文言を入れて、担当部署を示すといいと思う。

<事務局>

わかりました。

<会長>

基本目標 3、基本施策(1)~(3)で、何かご意見があればお願いしたい。基本施策(3)の取り組み内容No.2の内容について、「モデル職場として職員研修を実施します」を「率先垂範してハラスメントの防止に努めます」への文言の変更要望があるがいかがか。

<委員>

基本目標 2、基本施策(2)の成果目標で、以前「ファミリー・フレンドリー

企業数」を「えるぼし・あいち女性輝きカンパニーの認定企業・事業所数」に変更したが、基本目標3の基本施策(3)の成果目標は、「ファミリー・フレンドリー企業数」なのか。

<事務局>

「えるぼし・あいち女性輝きカンパニー」は、女性活躍推進を掲げて行っている認定制度であり、特に「えるぼし」制度は女性活躍推進法の施行に伴って新たにできたもので、女性活躍推進という大きな項目の中の成果指標として挙げている。しかし、「ファミリー・フレンドリー企業」は女性活躍推進というエッセンスは入っているが、育児や介護の両立というカテゴリでは、基本施策(3)の「働きやすい労働環境の促進」の取り組み内容の数値として適切であるという意向で、目標に挙げている。

<委員>

「えるぼし・あいち女性輝きカンパニー」という言葉を見ると、これは「ファミリー・フレンドリー企業」のことだと思う人がいるかもしれない。市民の方には「ファミリー・フレンドリー企業」はかなり広まっている。「えるぼし・あいち女性輝きカンパニー」は、どの程度広まっているかわからないから、「えるぼし・あいち女性輝きカンパニー」を「ファミリー・フレンドリー企業」のことと思って読まれてしまうと、数字が違ってくる。

<会長>

先程の文言の変更は良いか。異議なしということで、修正してください。

<会長>

基本目標4、基本施策(1)・(2)で、何かご意見があればお願いしたい。

○ 意見なし

<会長>

基本目標5、基本施策(1)・(2)で、何かご意見があればお願いしたい。

○ 意見なし

<会長>

基本目標6、基本施策(1)~(3)で、何かご意見があればお願いしたい。

基本施策(1)の成果目標で、「家族介護者支援教室の参加人数」という介護に関する目標を入れてほしいと要望があるがいかがか。

<委員>

介護に関する成果目標を入れることには反対ではないが、目標に対する現状・課題はどこになるのか。

<事務局>

現状・課題の上から3つ目の箇条書きである。

<委員>

成果目標に挙げるということは、重点項目以上に期待を抱かせるところである。そこへこの目標が入ると、「介護は家族がやる」という、北名古屋市のメッセージとして受け取られてしまうのではないか。読んだ時に「家族が率先して介護してほしい」と言われているように読み取れた。在宅介護は国の政策ではあるが、同時に在宅介護というのはとても大変ということもあって、在宅介護をあまりにも強く言われると、ワーク・ライフ・バランスが崩れることもある。家族介護者支援教室の重要性について、家族で介護をしたいという人もいるから、その気持ちは大事にしないといけない。ただ、家で介護する大変さがあるため、コツを教えてもらわないといけないから、教室を開く重要性は否定しないが、これが成果目標に出てくると、やはり家族介護が最も重要だと言われている気がする。

<会長>

北名古屋市では、講演会などを行っている。

<委員>

家族介護の支援は当然必要で、教室を開くことは賛成。成果目標が複数はないからこれで仕方ない。

<委員>

取り組み内容No.5「介護保険サービスの充実」の内容に、「家族介護に対する支援にも努めます」などを書いて、その目標として出てくるなら、まだわかる。読む人によってそれぞれ違うから、何とも言えない。介護を経験した者からいえば、大変なことは大変である。

<事務局>

内容の中に、「介護保険サービスと家族介護者の支援を充実させる」と加えるということによいか。

<委員>

北名古屋市の農村部では家族介護をしていらっしゃる方が多いと思う。そういう人たちにとっては、家族でみていても放っておかれるのではなく、市が助けてくれるというメッセージを発するという事はいいことだと思う。成果目標に挙げるなら、家族だけに任せるのではなく、他のこともやりながら、取り組み内容にしっかりと「家族介護の支援にも努めます」という言葉が入ればいい。

<事務局>

内容の書き方を変えます。

<委員>

基本施策(1)の成果目標「保育園における待機児童数」の数値目標0人の「待機児童」の定義は、国の定義に従った0人ということか。

<事務局>

そうです。かくれ待機児童を含めての0人です。

<事務局>

年度の途中だと待機児童がどうしても出てしまうため、4月1日段階だが0を目指すということである。ここはかなり力を入れているようである。念のため確認する。

<会長>

○ 欠席の副会長からのご意見を紹介。

横井副会長のご意見に、何かあればお願いしたい。

<事務局>

基本目標5、基本施策(1)については、取り組み内容No.1に「教育現場での周知活動」を追加で記載するという事によいか。

<委員>

担当課に市民活動推進課だけでなく、学校教育課を入れると良い。

<事務局>

市民活動推進課と学校教育課に加えて、健康課の業務として学校で思春期教室を行っているので、その中で周知するのが良いのではと考えている。デートDVだけの周知は難しいと思うが、思春期教室で少し触れていただくのが導入しやすいと思うので、担当課に健康課も入れさせていただきたい。

<委員>

教育委員会のやることを、ここに入れることはできないのか。

<事務局>

学校でやることなので、担当課としては学校教育課になる。

<委員>

本庁と教育委員会は別組織で、お互いに干渉しないというのはわかるが、連携をしてやってみえると思う。この主たる担当課は学校教育課になるのか。

<事務局>

担当課として3つを入れる。内容には、「教育現場における周知」と明記する。

<委員>

実施することは学校側としても賛成である。やりやすい形で下ろしてほしい。例えば、このプリントを説明すれば、先生も説明しやすい、子どもにもわかりやすいという準備をしていただきたい。

<委員>

DV関連のリーフレットの的なものに関しては20数年前にできあがっていて、それにはDVはいわゆる暴力だけではなく、精神的なものや環境的なもの全部含めてDVであるとされていて、副会長が言われるのは、暴力から精神的なものや環境的なものに移ってきたということである。

<事務局>

やりやすい形で学校現場に下ろしたいと思う。

<委員>

きめ細やかに指導するのが我々の仕事だと思っている。よろしくお願ひしたい。

<会長>

○ 欠席の委員からのご意見を紹介。

<委員>

前段に戻って申し訳ないが、プランの方向性としてプランの将来像が記載されている。プランの前提事項として総合計画を上位計画とすると書いてあるが、上位計画とのつながりは「上位計画とする」と書いてあるだけある。新総合計画で、市民の役割であるとか、北名古屋市は人権を尊重するまちにするということを謳ったので、それを是非この将来像の中に入れていただきたい。わざわざ総合計画を開いて見る人はいないので、書いていただけると良いと思う。

<事務局>

プランの方向性の中で、総合計画での内容を加筆する。

<会長>

本日の議題について、審議された内容のまとめをお願いする。

<請負業者>

本日決まった内容は、基本目標1、基本施策(1)の「取り組み内容」に、「困難な状況に置かれている人への支援」を追加し、成果目標に「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」の文言を追加する。基本目標1、基本施策(2)の成果目標数値に括弧でパーセンテージを載せる。

基本目標2、基本施策(2)の現状・課題の上から3つ目の箇条書きを、「キャリアアップに関する研修などにより意欲を高めるとともに、周りの理解を促進する」と修正する。取り組み内容No.1に子育て介護支援に関するバックアップの情報提供についての文言を追加し、No.3の取り組みについて「女性の能力開発・向上の支援」を「女性活躍の支援」に修正し、内容を「キ

キャリアアップなど女性活躍に資するセミナー」に修正し、No.4の内容について「モデル職場」を「率先垂範して」に修正し、基本施策(2)の成果目標について「女性を対象としたセミナー・研修・・・」を「女性活躍に向けたセミナー・研修」に修正する。

基本目標3、基本施策(3)の取り組み内容No.2の内容について、「モデル職場として職員研修を実施する」を「率先垂範してハラスメントの防止に努める」に変更する。

基本目標5、基本施策(1)の取り組み内容No.1について、「学校教育現場での周知」などの文言を追加し、担当課に学校教育課と健康課をそれぞれ追加する。

基本目標6、基本施策(1)の取り組み内容No.5について、「家族介護者の支援についても充実させる」などの文言を追加し、成果目標に「家族介護者教室の参加者数」を追加する。

プランの方向性について、総合計画との整合性をとる一文を入れる。

<会長>

本審議内容をプラン（素案）に反映させ、第4回の審議会で提出をお願いします。

<閉会 午後3時45分>